

薬学部科目担当者一覧

学年	科目分類	授業形態	科目名	開講期	単位数	必修選択	対象科目	科目責任者	
								部門	名前
第2学年	基礎	講義	薬学英語の基礎1	前期	1	必修		富士吉田教育部	須田 拓基
	専門	講義	物質の状態と変化	前期前半	1	必修	○	生物物理化学	合田 浩明
	専門	講義	有機化合物の反応	前期前半	1	必修	○	医薬化学	太田 公規
	専門	講義	生命活動を担う分子 (物質輸送とエネルギー産生)	前期前半	1	必修	○	生物化学	板部 洋之
	専門	講義	人体の成り立ちと機能Ⅲ	前期前半	1	必修	○	生理学	上條 翔太郎
	専門	講義	化学平衡	前期後半	1	必修	○	生体分析化学	加藤 大
	専門	講義	人体の成り立ちと機能Ⅳ	前期後半	1	必修	○	臨床病態学	谷岡 利裕
	専門	講義	薬の宝庫としての天然物	前期後半	1	必修	○	天然医薬治療学	川添 和義
	専門	講義	生命活動を担う分子(代謝とその調節)	前期後半	1	必修	○	生物化学	小浜 孝士
	専門	講義	薬の作用と生体内運命	前期後半	1	必修	○	薬理学	野部 浩司
	専門	講義	個人・集団・社会と健康	前期後半	1	必修	○	衛生薬学	原 俊太郎
	専門	講義	微生物と感染症	前期後半	1	必修	○	感染制御薬学	石野 敬子
	基礎	講義	薬学英語の基礎2	後期	1	必修		富士吉田教育部	須田 拓基
	専門	講義	物質の構造	後期	1	必修	○	生物物理化学	合田 浩明
	専門	講義	医薬品の検出と定量	後期	1	必修	○	生体分析化学	加藤 大
	専門	講義	官能基の化学	後期	1	必修	○	医薬化学	永田 和弘
	専門	講義	生命活動を担う分子 (細胞の構造、機能と情報伝達)	後期	1	必修	○	腫瘍細胞生物学	柴沼 質子
	専門	講義	生体防御反応を担う組織、細胞、分子	後期	1	必修	○	腫瘍細胞生物学	森 一憲
	専門	講義	生活環境と健康	後期	1	必修	○	衛生薬学	桑田 浩
	専門	講義	薬剤師と医薬品に係る法規範Ⅰ	後期	1	必修	○	社会薬学	赤川 圭子
	専門	講義	薬と疾病(悪性腫瘍)	後期	1	必修	○	がんゲノム医療薬学	藤田 健一
	専門	講義	薬と疾病(感染症)	後期	1	必修	○	感染制御薬学	前田 真之
	専門	講義	薬の効き方	後期	1.5	必修	○	薬理学	野部 浩司
	専門	演習	在宅チーム医療と倫理TBLⅡ(学部連携)	前期前半	0.5	必修		薬学教育学	加藤 里奈
	専門	演習	コミュニケーション	前期後半	0.5	必修		薬学教育学	小林 靖奈
	専門	演習	生と死	後期	1	必修		薬学教育学	亀井 大輔
	専門	演習	生理から病態へ 演習	後期	1	必修		臨床病態学	磯崎 健男
	専門	演習	薬学基礎から薬物治療へ 演習	後期	1	必修		薬理学	柴田 佳太
	専門	演習	学修技法とスチューデントデベロップメント ※1	通期	-	必修		薬学教育学	小林 靖奈
	専門	演習	キャリアデザイン ※2	通期	-	必修		毒物学	沼澤 聡
専門	実習	物質の性質・分析・製剤化と製剤試験法	前期前半	1.5	必修		生物物理化学 生体分析化学	合田 浩明 加藤 大	
専門	実習	医薬品の化学 実習	前期後半	1.5	必修		薬剤学	原田 努	
専門	実習	人体の成り立ちと機能 実習	前期後半	0.5	必修		医薬化学	福原 潔	
専門	実習	診療の流れを知る 実習	前期後半	1	必修		臨床病態学 生理学	磯崎 健男 上條 翔太郎	
専門	実習	生命体の成り立ち 実習	後期	2	必修		臨床栄養代謝学	千葉 正博	
							生物化学 感染制御薬学 腫瘍細胞生物学	板部 洋之 石野 敬子 柴沼 質子	
合計				履修科目数35科目(うち2科目は他学年で単位認定)必要要件単位数34単位					

○ 対象科目(前期11科目、後期10科目):再試験受験資格判定科目、進級試験対象科目

※1 学修技法とスチューデントデベロップメントは、2年次から履修し、第6学年において単位を認定する。

※2 キャリアデザインは、2年次から履修し、第5学年において単位を認定する。

単位認定の必要な科目は以下の通りである。

前期必修科目数 18科目

後期必修科目数 15科目

前期必要要件単位数 17.5単位

後期必要要件単位数 16.5単位

最低履修科目数 33科目 必要要件単位数 34単位

薬学部科目担当者一覧

学年	科目分類	授業形態	科目名	開講期	単位数	必修選択	対象科目	科目責任者	
								部門	名前
第3学年	専門	講義	薬学英語1	前期	1	必修		薬学教育学	小林 文
	専門	講義	薬剤師と医薬品に係る法規範Ⅱ	前期	1	必修	○	薬学教育学	亀井 大輔
	専門	講義	溶液の性質	前期	1	必修	○	生物物理化学	合田 浩明
	専門	講義	生体分子の化学	前期	1	必修	○	医薬化学	福原 潔
	専門	講義	薬物の体内動態	前期	1	必修	○	薬物動態学	杉山 恵理花
	専門	講義	生体防御反応の応用と免疫疾患	前期	1	必修	○	腫瘍細胞生物学	柴沼 質子
	専門	講義	薬と疾病(神経・精神系疾患)	前期	1.5	必修	○	天然医薬治療学	栗原 竜也
	専門	講義	薬と疾病(呼吸器系疾患)	前期	1	必修	○	臨床研究開発学	肥田 典子
	専門	講義	薬と疾病(消化器系疾患)	前期	1	必修	○	薬物治療学	向後 麻里
	専門	講義	臨床で用いる分析技術	前期	1	必修	○	生体分析化学	加藤 大
	専門	講義	処方箋と調剤	前期	1	必修	○	天然医薬治療学	栗原 竜也
	専門	講義	製剤の性質	前期	1	必修	○	薬剤学	原田 努
	専門	講義	医薬品情報と患者情報	前期	1	必修	○	感染制御薬学	前田 真之
	専門	講義	薬学英語2	後期	1	必修		薬学教育学	小林 文
	専門	講義	製剤設計	後期	1	必修	○	薬剤学	原田 努
	専門	講義	機器分析	後期	1	必修	○	生体分析化学	加藤 大
	専門	講義	医薬品の化学	後期	1	必修	○	医薬化学	福原 潔
	専門	講義	生命活動を担う分子(ゲノム情報とバイオ医薬品)	後期	1	必修	○	衛生薬学	原 俊太郎
	専門	講義	医薬品・化学物質の代謝反応	後期	1	必修	○	毒物学	芦野 隆
	専門	講義	薬物動態の解析	後期	1	必修	○	薬物動態学	佐藤 均
	専門	講義	栄養と健康	後期	1	必修	○	衛生薬学	桑田 浩
	専門	講義	薬と疾病(循環器系疾患)	後期	1	必修	○	薬理学	野部 浩司
	専門	講義	薬と疾病(代謝系・内分泌系疾患)	後期	1	必修	○	薬理学	野部 浩司
	専門	講義	薬と疾病(泌尿器系・生殖器系疾患)	後期	1	必修	○	薬物治療学	向後 麻里
	専門	講義	社会保障制度と医療経済	後期	1	必修	○	薬剤疫学	今井 志乃ぶ
	専門	演習	薬剤師の使命	前期	1	必修		薬学教育学	加藤 里奈
	専門	演習	薬と疾病チュートリアル1(神経疾患)	前期	1.5	必修		毒物学	芦野 隆
	専門	演習	薬剤師に求められる倫理観	後期	1	必修		薬学教育学	加藤 里奈
	専門	演習	研究倫理と統計	後期	2	必修		毒物学	光本 明日香
	専門	演習	薬と疾病チュートリアル2(循環器疾患)	後期	0.5	必修		臨床病態学	谷岡 利裕
	専門	演習	学部連携チーム医療PBLⅡ・在宅ケア	後期	2	必修		薬学教育学	亀井 大輔
	専門	演習	薬学基礎と臨床の複合演習	後期	1	必修		薬剤学	原田 努
	専門	演習	学修技法とスチューデントデベロプメント ※1	通期	-	必修		薬学教育学	小林 靖奈
	専門	演習	キャリアデザイン ※2	通期	-	必修		毒物学	沼澤 聡
	専門	実習	健康と環境 実習	前期	1	必修		衛生薬学	桑田 浩
	専門	実習	調剤・患者対応入門 実習	前期	1	必修		薬物治療学	大林 真幸
専門	実習	薬の効くプロセス 実習	前期	1	必修		薬理学	野部 浩司	
専門	実習	急性期医療と薬剤師 実習	後期	1	必修		薬学教育学	亀井 大輔	
専門	実習	薬学研究入門 ※3	後期	-	必修			講座主任	
合計				履修科目数 39科目(うち3科目は他学年で単位認定) 必要要件単位数38.5単位					

○ 対象科目(前期12科目、後期11科目):再試験受験資格判定科目、進級試験対象科目

※1 学修技法とスチューデントデベロプメントは、2年次から履修し、第6学年において単位を認定する。

※2 キャリアデザインは、2年次から履修し、第5学年において単位を認定する。

※3 薬学研究入門は、3年次から履修し、第4学年において単位を認定する。

単位認定の必要な科目は以下の通りである。

前期必修科目数 18科目

後期必修科目数 18科目

前期必要要件単位数 19単位

後期必要要件単位数 19.5単位

最低履修科目数 36科目 必要要件単位数 38.5単位

薬学部科目担当者一覧

学年	科目分類	授業形態	科目名	開講期	単位数	必修選択	対象科目	科目責任者	
								部門	名前
第4学年	専門	講義	薬となる化合物の構造と性質	前期	1	必修	○	医薬化学	福原 潔
	専門	講義	分子・細胞から生理・病態へ	前期	1	必修	○	生物化学	板部 洋之
	専門	講義	漢方医学の実践	前期	1	必修	○	天然医薬治療学	川添 和義
	専門	講義	日常生活と健康	前期	1	必修	○	衛生薬学	原 俊太郎
	専門	講義	薬物送達システム	前期	1	必修	○	薬剤学	中村 明弘
	専門	講義	薬と疾病(眼・耳鼻咽喉・骨関節・アレルギー疾患)	前期	1	必修	○	薬理学	柴田 佳太
	専門	講義	薬と疾病(血液・小児・皮膚・免疫疾患)	前期	1	必修	○	臨床病態学	磯崎 健男
	専門	講義	個別化医療	前期	1	必修	○	薬物治療学	向後 麻里
	専門	講義	地域医療とプライマリケア	前期	1	必修	○	社会薬学	岸本 桂子
	専門	講義	薬毒物と中毒	前期	1	必修	○	毒物学	沼澤 聡
	専門	講義	放射性医薬品の利用と管理	後期	1	必修	○	衛生薬学	原 俊太郎
	専門	演習	学部連携チーム医療PBLⅢ・在宅チーム医療と倫理TBLⅢ	前期	1.5	必修		薬学教育学	小林 靖奈
	専門	演習	EBM演習	前期	1	必修		天然医薬治療学	栗原 竜也
	専門	演習	薬と疾病チュートリアル3(がん疾患)	前期	0.5	必修		がんゲノム医療薬学	藤田 健一
	専門	演習	輸液と栄養	前期	0.5	必修		臨床栄養代謝学	千葉 正博
	専門	演習	実務と基礎の複合演習	後期	1	必修	○	がんゲノム医療薬学	藤田 健一
	専門	演習	学修技法とスチューデントデベロプメント ※1	通期	-	必修		薬学教育学	小林 靖奈
	専門	演習	キャリアデザイン ※2	通期	-	必修		毒物学	沼澤 聡
	専門	実習	薬学研究入門	前期	6	必修		講座主任	
	専門	実習	臨床実習事前学修	後期	4	必修		薬学教育学	亀井 大輔
	専門	実習・演習	ファーマシューティカルケアプログラム※3	後期	-	必修		がんゲノム医療薬学	藤田 健一
	専門	実習	薬局実習※3	後期	-	必修		薬物治療学	向後 麻里
合 計				履修科目数22科目(うち4科目は他学年で単位認定) 必要要件単位数25.5単位					

○ 対象科目(前期10科目、後期2科目):再試験受験資格判定科目、進級試験対象科目

※1 学修技法とスチューデントデベロプメントは、2年次から履修し、第6学年において単位を認定する。

※2 キャリアデザインは、2年次から履修し、第5学年において単位を認定する。

※3 ファーマシューティカルケアプログラム、薬局実習は、4年次から履修し、第5学年において単位を認定する。

単位認定の必要な科目は以下の通りである。

前期必修科目数 15科目

後期必修科目数 3科目

前期必要要件単位数 19.5単位

後期必要要件単位数 6単位

最低履修科目数 18科目 必要要件単位数 25.5単位

薬学部科目担当者一覧

学年	科目分類	授業形態	科目名	開講期	単位数	必修選択	科目責任者	
							部門	名前
第5学年	専門	演習	アドバンスト薬学英語 ※1	後期	-	必修		
	専門	演習	応用薬学演習 ※1	後期	-	必修	生体分析化学	加藤 大
	専門	実習・演習	ファーマシューティカルケアプログラム※2	通期	9	必修	がんゲノム医療薬学	藤田 健一
	専門	実習	学部連携病棟実習	後期	1	必修	薬学教育学	小林 靖奈
	専門	実習	薬学研究実践プログラム ※1	後期	-	選択必修		
			症例研究実践コース				病院薬剤学	田中 克己
			臨床研究実践コース				講座主任	
			基盤研究実践コース				講座主任	
	専門	実習	学部連携地域医療実習 I・II ※1	後期	-	自由選択	社会薬学	岸本 桂子
	専門	実習	海外における薬剤師の役割を知る	後期	②	自由選択	生物化学	板部 洋之
	専門	演習	アドバンスト薬学英会話 ※1	後期	-	自由選択	薬学教育学	小林 文
	専門	演習	キャリアデザイン ※3	通期	0.5	必修	毒物学	沼澤 聡
	専門	実習	病院実習2	通期	12	必修	病院薬剤学	田中 克己
専門	実習	薬局実習※2	通期	10	必修	薬物治療学	向後 麻里	
合計			最低履修科目数8科目(うち3科目は他学年で単位認定) 必要要件単位数32.5単位					

※1 応用薬学演習、薬学研究実践プログラム、アドバンスト薬学英語、学部連携地域医療実習、アドバンスト薬学英会話は、5年次から履修し、第6学年において単位を認定する。

※2 ファーマシューティカルケアプログラム、薬局実習は、4年次から履修し、第5学年において単位を認定する。

※3 キャリアデザインは、2年次から履修し、第5学年において単位を認定する。

単位認定の必要な科目は以下の通りである。

後期必修科目数 2科目

通期必修科目数 3科目

後期必要要件単位数 10単位

通期必要要件単位数 22.5単位

最低履修科目数 5科目 必要要件単位数 32.5単位

薬学部科目担当者一覧

学年	科目分類	授業形態	科目名	開講期	単位数	必修選択	科目責任者	
							部門	名前
第6学年	専門	演習	アドバンスト薬学英語 ※1	前期	1	必修	講座主任	
	専門	演習	応用薬学演習 ※1	前期	9	必修	社会薬学	岸本 桂子
	専門	演習	総合薬学演習※2	前期	-	-	社会薬学	岸本 桂子
	専門	実習	薬剤師の臨床判断	前期	②	自由選択	薬学教育学	亀井 大輔
	専門	実習	学部連携地域医療実習 I	前期	②	自由選択	社会薬学	岸本 桂子
			学部連携地域医療実習 II		④			
	専門	演習	集中講義※3	後期	-	-	社会薬学	岸本 桂子
	専門	実習	薬学研究 I	通期	17	選択必修 ※4	講座主任	
			薬学研究 II		16			
			薬学研究 III		15			
合計				最低履修科目数 3科目 必要要件単位数26単位以上 ※4				

<卒業までに修得する単位数：191.5単位以上を必要とする>

- ※1 応用薬学演習、アドバンスト薬学英語は、5年次から履修し、第6学年において単位を認定する。
- ※2 総合薬学演習は、卒業に必要な単位修得済みの学生を対象として開講する。新たな単位は付与しない。
- ※3 集中講義は、単位認定対象外とする。
- ※4 自由選択科目(薬剤師の臨床判断、学部連携地域医療実習 I・II)を選択しない学生については、「薬学研究 I」を履修する。
「薬剤師の臨床判断」、5年次または6年次「学部連携地域医療実習 I」、あるいは5年次「海外における薬剤師の役割を知る」のいずれか1科目を履修した学生は「薬学研究 II」を履修する。
5年次または6年次「学部連携地域医療実習 II」を選択した学生、あるいは「薬剤師の臨床判断」と5年次または6年次「学部連携地域医療実習 I」を選択した学生は「薬学研究 III」を履修する。

単位認定の必要な科目は以下の通りである。

前期必修科目数 2科目

通期必修科目数 1科目

前期必要要件単位数 10単位

通期必修単位数 15単位以上

最低履修科目数 3科目 必要要件単位数26単位以上